

2022年度 第4回 須坂市地域公共交通会議 議事録

【日時】 2023年3月14日(火)午後2時00分から3時30分

【場所】 生涯学習センター 3階ホール

【議事概要】

1. 議事

(1)協議事項

- ① 須坂市地域公共交通計画の策定について
- ② 乗合タクシーの予約受付時間の変更について

(2)報告事項

- ① すずか市民バス・すずか乗合タクシーの利用状況について
- ② バスICカードくるるの利用状況について

2. その他

3. 閉会

【内 容】

1 開 会

欠席者の報告。

《出席20名(代理出席2名) 欠席7名、委託事業者2名》

会議は公開。議事録作成のため、会議内容を録音。

会長よりあいさつ

2. 議事

(1)協議事項

①須坂市地域公共交通計画の策定について

事務局：

- ・パブリックコメントについて、1件のご意見をいただいた。
- ・公表は3月31日を予定している。計画本編、概要版、資料編の一式を公表予定である。
- ・委託事業者より概要版および資料編の構成について説明をした。

会長：

- ・本編ならびに概要版について質問はあるか。

アドバイザー：

- ・本編p.17の行政負担額の推移が、p.15の現況に適切に反映されていない。2013年から2017年までの利用者変化は微小であるが、行政負担額は増加している。つまり利用者の減少に関わらず燃料費や人件費等も経費が増加している可能性も想定されるため、その旨の記載をすること。

- ・p.20にKURURUの利用割合の増加が鈍化しているとあるが、40%という数値は、SUICAやPASMOが使えない地域であることを踏まえても悪くない数値である。計画の記載を変更する必要はないが、利用割合が低くはないという理解をしていただきたい。

- ・p.41のバスICカードデータの取り組み内容について、集計の自動化の検討という話があるが、県として地域連携ICカードを普及していく方針のため、市がKURURUの集計を自動化する必要はない。

- ・地域連携ICカードの導入にあたり、システム上の対応可否を把握する必要がある。割引等の継続・拡大(p.35)と、データを活用したモニタリングの実施(p.41)については地域連携ICカードでどこまで実施ができるのか長野県の対応を確認しつつ、須崎市や交通事業者で協議する必要がある。

- ・p.33の乗継ダイヤについて、市民バスは、昼間は30分間隔のパターンダイヤであるため、長野電鉄のダイヤと合わない便がある。今後検討を進める際は、すべての便・列車を対象とするよりも、乗継が多くみられる時間帯を把握し、どの時間帯の乗継を改善するかを特定してダイヤを考えるとよい。

会長：

- ・当該協議事項について賛成の方は挙手をお願いします。
- ・賛成多数のため、計画を承認する。

②乗合タクシーの予約受付時間の変更について

事務局：

- ・すざか乗合タクシーの午前便の予約時間の締め切りを20時から18時に変更する。
- ・タクシー事業者の人員不足の課題があり、締め切り時間間際に予約が入ると配車の調整が困難となるため今回の変更に至った。
- ・令和5年4月1日から適応する予定であるが、移行期間を1か月設け、4月末までは20時まで受付はできるようにし、18時までに変更になる旨を利用者に都度周知する。令和5年5月から18時に本格移行する。

会長：

- ・すざか乗合タクシーの予約受付時間の変更について質問はあるか。
- ・当該協議事項について承認される方は挙手をお願いする。
- ・賛成多数のため、変更案を承認する。

(2)報告事項

①すざか市民バス・すざか乗合タクシーの利用状況について

②バスICカードくるるの利用状況について

事務局：

- ・すざか市民バスの利用者数は前年に比べ増加している。
- ・明徳団地線について乗継割、昼割いずれの利用件数も増加しているため集計を行った。
- ・明徳団地線の乗継割の利用区間割合について、須坂駅から望岳台団地区間および須坂駅から野辺までの区間が約25%ずつを占め、須坂駅から看護専門学校の区間が約17%を占めていた。
- ・同じく明徳団地線の昼割の利用区間割合について乗車場所は約7割が須坂駅である。降車場所は望岳台団地が約30%、野辺が約20%、看護学校が約7%を占めている。

会長：

- ・只今の報告事項について質問はあるか。

アドバイザー：

- ・p.11について、仙仁線のICカード通学定期の利用が12月から2月にかけて100件程度落ちていると報告があったが、これは営業日数の影響だろう。ICカード通学定期の販売件数は減少していないため、そこまで問題ではないと考えられる。
- ・昼割の利用件数は過去2年と比較すると各月で2割程度増加している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復しつつあるのではないか。
- ・p.7の乗合タクシーについて、1人2人が月数回利用いただくことで総利用者数が左右されるため、日常的に利用する利用者の増加を図れると良い。

3. その他

事務局：

- ・資料4について、2022年10月22日にKURURU無料の日を実施していたが、R5年度も実施予定である。
- ・昨年度のKURURU無料の日については、通常の休日よりも2、3割ほど利用者が増加している。須坂屋島線に関しては通常の休日と比べ約5倍に増加した。

事務局：

- ・資料5について、福祉交通として旭丘地区で生活助け合い事業が開始される予定である。地域交通に係る内容のため本会議の委員の皆様へ情報提供させていただく。

アドバイザー：

- ・道路運送法の許可・登録が必要か否か、改めて運輸支局に確認してもらいたい。

委員：

- ・詳細まで把握出来ていないため、局内で確認を行う。

4 閉会